

# 檜の会

## 涼風

NPO法人檜の会理事長 安田紀美子（花柳双喜美）

第45号

平成27年  
(2015)  
7月25日  
春・夏合併号

発行人 NPO法人檜の会事務局  
〒六〇五一〇八二三京都市東山区安井毘沙門町三三  
TEL ○七五一五五一一三六五三  
FAX ○七五一三三〇一一六三九

企画・編集 檜の会会報編集部  
印刷 (有) 章美プリント  
<http://hinokinokai.or.jp/>

## 第9回「伝統文化の精華」展に想う

箔芸術工芸家  
近藤富士金

近藤富士金

皆様にはご清祥の事を心よりお慶び申し上げます。

日頃は当会の運営にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

「檜の会」が発足しまして32年、NPO法人格になりまして11年目を迎えます今期は、一段区切りの所に差し掛かりました。社会情勢を見据えながら、新たな息吹も取り入れ、気持ちも一新、一致団結で参りたいと存じます。

当会の目的は伝統文化特に・芸能・芸術を一般の方に広く親

しんで頂く事、又次の世代に受け継ぎの役目を担つて参りました。

「何が言いたいのか」と言われる事のない様に、一目で理解できる事業に着手致したと考えて参りました。

その意味では、京都大学芝蘭会館稲盛ホールでの芸能フォーラムは段々と好評を得まして、大勢のご理解を頂くようになりました。



伊舞「花の友」

伝統は古いものという認識は捨て、過去・現在・未来に繋いで行きたいと願っております。

会員の皆様には、良いニュースが御座います時は是非お知らせくださいませ。皆で取り組みましょう。

皆様に愛されている「檜の会」が次世代へ受け継がれて、永く続いて参りますように、心より祈念しております。

今後とも宜しく支援・指導の程宜しくお願い申し上げます。

第9回『伝統文化の精華』展が、三月十四日(土)十五日(日)の二日間に亘り、清水寺近くの東山区総合庁舎の一階フロアを会場に開催されました。当会の年度末催事であります。初日は少し天候が悪くて心配をしましたが、午後からは回復に向かい、よき開催となりました。

今回出展作家の方々ですが、漆芸家の方は三名です。先ず乾漆の山田豊子氏(三代楽全)の『乾漆銀幙』という金銀箔を施した繊細で優雅な大きな出展作品でした。

次に漆芸家の岸本圭司氏の作品は、螺鈿蒔絵漆箱『つつじ』と命名された、金箔粉と貝殻で施した静閑さを感じさせる作品でした。

最後になりますが、漆芸家の村田好謙氏の出展作品は一輪挿し『光を浴びて』と題して金箔粉を全体に施した作品で、光が宇宙に拡がりを感じさせる優雅な作品等の出展となりました。

染色家の伊砂正幸氏は、万葉集シリーズより『かぎろい』と題して、風景の図は染色により、今は昔を想い出させる、やはり優雅で繊細な作品創りに専念されており、素晴らしい出展作品でした。



金氏は鎮金箔技法と言つて、金箔とプラチナ箔で立体感のある意匠の表現等で富士山など他の出展となりました。

又今年も昨年に引き続き檜の会推薦（新人コーナー）として漆芸家の高畠麻珠子氏（村田好謙氏に師事）の作品は『唯』という繊細な作品等で女性らしさを感じさせるすばらしい作品の出展です。

今年も各界で活躍されている方々であり、会場の作品でも人々が感銘されました。

又、当会理事長がスタッフの方々のご協力とご賛助者のご支援のおかげ様をもちまして成功裡に終りましたことをプロデュース担当の近藤より厚く御礼申し上げます。

（当会副理事長）



## NPO法人檜の会 伝統芸能鑑賞事業 第二回文化講演会△芸能フォーラム△

日時…平成27年5月17日(日)  
会場…京都大学芝蘭会館稻盛ホール

### 「伝統芸能の過去・現在・未来」 医学博士 安田 雄司

この度はNPO法人檜の会「第二回文化講演会芸能フォーラム伝統芸能の過去・現在・未来」に客人として招かれました。私は日本人でありながら茶道、華道について深い知識も無く、ましてや流派の違いなど全く知識がありません。その私に医者としてこのパネルディスカッションへ参加要請が…。藤田裕之京都副市长も出席されました。

最初に西行庵茶道円位流当主花輪竹峯嘉純氏の講演、流派のルーツを辿ると高山右近とか、朝茶を続けられている。

続いて華道未生流 笹岡家元 笹岡隆甫氏の講演。日本の華道はアシンメトリーに美しさと奥行きがある。夢は華道を義務教育に取り入れたいのと東京オリンピックで花を活けること、素晴らしい。

続いて歌舞能。事前に調べても不明で何かと思つたら、今回は華道と能のコラボとのこと。演目は「杜若」実際に面白い。

無知の私でもよく理解出来た。

最後は、私も含めてパネルディスカッショーン。会場からソプラノ歌手として活躍されている女性から「この京大芝蘭会館稻盛ホールは産学を目的としていて楽曲演奏は出来ない。産学芸連携に持つていく秘訣は?」私が「ストレスの多い日本人は自律神経の交感神経ばかり働いているので安らぎの副交感神経を活性させるためにも芸術が必要で、新たなアイデ

アも生み出されるでしょう」と最後に述べさせていただきました。副交感神経がガンガン働いた一日でした。（当会顧問）

ご出演の皆様は  
総合司会者  
リーダー

花輪 竹峯氏（茶道西行庵）  
「西行に捧げる朝茶」

笹岡隆甫氏（華道未生流 笹岡  
喜右衛門氏（能楽観世流）  
「歌舞能かきつばた」

林 宗一郎氏（能楽観世流）  
「同右 謠」

客人

小川 侃氏（哲学者 京大名誉教授）  
ジェフリー・ムーサス氏（米国建築家）

安田 雄司氏（医学博士）

の豪華メンバーです。



歌舞能「杜若」

田村類先生はこの芸能フォーラムの企画の趣旨をご案内のリーフレットにこう述べられている。  
「伝統文化の中でも伝統芸能を継承されている若きリーダー達に21世紀の伝統文化のあるべき姿を語つていただき学生や一般の方とともに『伝統文化とは何か、今後どうあるべきかについての理解を深めていただく』という企画で講演・実演・パネル討論である」

今年も当会副理事長田村類先生の企画構成で青葉萌える京都大学芝蘭会館稻盛ホールに於いて開催された。着こなされた綺麗な和服姿の参加者がちらほらとお見えで今日の催しに相応しく、このフォーラムを一層引き立てて下さっているように感じた。

### 一 報 告

藤田裕之京都副市长もご多忙の中、態々お運びいただき激励の言葉を頂戴致しました。

講演と「お花とお茶」「能と生花」のコラボ。リーダーと客人の「パネル討論」は、またたく間に時間が経つて、そのクオリティの高さに酔い知らされた檜の会、田村類先生、中田節総合司会者ならではの大イベントでした。（J・T）

## 報 告

### 【NPO法人檜の会】

#### 平成27年度会員総会

平成27年5月17日(日)  
於・京大吉田南キャンパス内演習室  
交流会・レストラン キエフ

NPO法人檜の会平成27年度会員総会は、文化講演会「芸能フォーラム」に続いて京大吉田南キャンバス内演習室で開催された。

安田紀美子(花柳双喜美)理事長は挨拶で、NPO発足10周年を越え当初目的達成で解散を理事会決定するも、会員の皆様の継続の要望も大きく再度議論の結果、継続の運びとなり若い世代とともに再出発する旨の決意と会員の協力を要請された。

続いて奥村澄子専務理事を議長に選出し、議事に入り、

・平成26年度事業報告・活動計算書・貸借対照表・財産目録の承認について

・監査報告

が順次上程され慎重審議の上、何れも満場一致で承認可決され、近藤富士金副理事長の閉会の挨拶で会員増強やNPOを継続して日本の文化芸術の育成・伝承への会員の協力を呼びかけられ、新しい意気込みの漲る中、無事終了した。

総会終了後は、時間の都合のつく方々にお声掛けをして縄手四条の「キエフ」にて和やかに反省会を兼ねた懇談のひとときを過ごし散会しました。

### 【役員改選】(敬称略)◎新任 □役割分担

### 会員情報

顧問 横岡 義明

◎安田 雄司

柴田 嘉章

◎柴田 美智子

理事長 安田紀美子〔総括〕

副理事長◎小川 侃〔學術〕

近藤富士金〔伝統文化の精華〕

専務理事 奥村 澄子〔會議等の進行・広報〕

常務理事◎木下 隆〔会計・事務総括・広報〕

理事 荒木 勤

◎伊砂 正幸〔工芸〕

田中重太郎〔広報〕

◎田村 類〔国際交流分野〕

◎林 宗一郎〔伝統芸能フォーラム〕

○

○

○

○

○

○

○

○

### 【理事の異動】(敬称略)

退任

常務理事 長谷川裕子

理 事 中田 節(編集部統括)

小暮 幹雄

山田 豊子

ご在任中のご苦労に感謝致しますと共に今後とも変わらぬ御指導をお願い致します。

◆日本ラオス外交関係樹立60周年記念

異文化を結び世界平和を奏でる

『声明音楽祭』監修・山折哲雄

第一部・ラオスと日本の僧侶による声明

第二部・タベの祈り(朝倉彩作曲)

第一抄・魂はどこへ

第二抄・尊き感動

祈る舞人――舞踊家 双喜美

祈る舞人――韓国伝統舞踊家 金一志

日時 H26・12・24(水)

会場・府民ホールアルティ

沈みゆく夕陽眺めながら無限の宇宙

の広がりに共鳴するという「日想観」

をモチーフとして構成された作品で、

安田紀美子(花柳双喜美)理事長がア

ジア民族の持つエネルギーを舞に表現されました。

◆MUGEN能∞能同人 本公演  
坂口貴信／林宗一郎(当会理事)  
茂山逸平／野村太一郎  
京都 5・27(水) 能舞台 嘉祥閣

福岡 9・15(火) 白金能樂堂

東京 11・16(月) 国立能樂堂

梅若能と日本舞踊(花柳双喜美師)

日時 H27・11・3(火・祝)

会場 南丹市日吉町 曹源寺(梅若家  
菩提寺)

主催 日吉町 〔伝統芸能を守る会〕

◆小唄柳派家元柳古柳襲名公演  
小唄振り『日吉さん』

日時 H27・12・6(土)

会場 宮川町歌舞練場

◆第37回日本新工芸展

会期 H27・7・21(火)～26(日)

会場・京都市美術館別館

「伝統文化の精華」展に毎回ご出展の陶芸家片山雅美氏がご出展されていま

す。ご高覧下さい。

◆邦楽・舞踊公演

『山めぐり』花柳双喜美

『蓬莱』花柳紀美青玉

日時 H27・8・26(木)

会場 京都四条南座

毎年恒例の舞踊公演です。お楽しみに

◆『祇園豆爾 ちよつと昔の祇園町』  
祇をん新井豆爾著  
定価本体一七〇〇円  
構成 当会前理事中田節  
発行 朝日新聞出版  
発売 H27・2・6(月)

哲学者梅原猛が「舞妓の足音が聞こえ

てきそうな情緒漂う本である」と評し

ておられます。ぜひご一読を!

◆『祇園豆爾 ちよつと昔の祇園町』  
祇をん新井豆爾著  
定価本体一七〇〇円  
構成 当会前理事中田節  
発行 朝日新聞出版  
発売 H27・2・6(月)

哲学者梅原猛が「舞妓の足音が聞こえ

てきそうな情緒漂う本である」と評し

ておられます。ぜひご一読を!

◆『祇園豆爾 ちよつと昔の祇園町』  
祇をん新井豆爾著  
定価本体一七〇〇円  
構成 当会前理事中田節  
発行 朝日新聞出版  
発売 H27・2・6(月)

哲学者梅原猛が「舞妓の足音が聞こえ

てきそうな情緒漂う本である」と評し

ておられます。ぜひご一読を!

◆『祇園豆爾 ちよつと昔の祇園町』  
祇をん新井豆爾著  
定価本体一七〇〇円  
構成 当会前理事中田節  
発行 朝日新聞出版  
発売 H27・2・6(月)

哲学者梅原猛が「舞妓の足音が聞こえ

てきそうな情緒漂う本である」と評し

ておられます。ぜひご一読を!

◆第17回『女流義太夫』講師竹本友香氏  
会場 エルイン京都

日時 H27・3・7

会場 宮川町歌舞練場

◆第18回『魔鏡の世界』講師山本晃久氏  
日時 H27・6・6

会場 宮川町歌舞練場

◆東峯塾(当会会員)芸能セミナー  
会場 エルイン京都

日時 H27・3・7

会場 宮川町歌舞練場

◆第17回『女流義太夫』講師竹本友香氏  
会場 エルイン京都

日時 H27・3・7

会場 宮川町歌舞練場

◆第18回『魔鏡の世界』講師山本晃久氏  
日時 H27・6・6

会場 宮川町歌舞練場

◆第17回『女流義太夫』講師竹本友香氏  
会場 エルイン京都

日時 H27・3・7

会場 宮川町歌舞練場

## 報告

## 【総会】

◆ H27・5・17 (日)

於…京大吉田南キャンパス内演習室

(3頁関連記事参照)

## 【理事会】

◆ H27・1・18 (日) (第5回)

於…当会事務所

◆ H27・3・8 (日) (第6回)

於…当会事務所

◆ H27・4・11 (土) (第1回)

於…当会事務所

◆ H27・5・6 (日) (第2回)

於…当会事務所

◆ H27・6・12 (金) (第3回)

於…レストラン キエフ

○

## 【事業】 (行事・催事)

◆ 新年の集い (親睦会)

H27・1・25 (日) 午後6時

会場…祇園・料理旅館「花楽」

新年の舞、河田貞顧問・西川四郎氏を

偲び「花の友」(安田紀美子理事長)

◆ 第9回「伝統文化の精華」展

会期…H27・3・14 (土) ~ 15 (日)

会場…東山区総合庁舎1階フロア

(1・2頁関連記事参照)

## ◆ 第二回文化講演会◇芸能フォーラム◇

『伝統文化の過去・現在・未来』

講演・実演とパネル討論

H27・5・17 (日) 午後1時~4時

会場…京都大学芝蘭会館稻盛ホール

(2頁関連記事参照)

## お知らせ

◆ 食文化を学ぶ お菓子作り体験

講師 中野う月氏

日時…H27・7・23 (木)

会場…エルイン京都

◆ セミナー「上七軒の歴史」

主催 東峯塾 NPO法人檜の会協催

講師 今井貴美子氏 上七軒勝也

日時…H27・9・19 (土)

会場…エルイン京都

◆ NPO法人檜の会(芸能セミナー5周年)

『伝統芸能を学ぶ』

日時…H27・11・11 (水)

会場…京都府立文化芸術会館

後援 京都府

能楽「龍虎」日舞 「鶯娘」

長唄 「小鍛治」

出演 花柳双喜美・林宗一郎

吉住小貴三郎・花柳紀美青玉

杉本裕美子・小椋守彦

福井栄一・早稲田大学OB連中



新年の集いにて

## 編集後記

◆ 「所期の目的達成」という事で、一時は解散も検討されましたが、会員の熱意と、「若い人の力をこれから活動に」との理事長の熱い思いで、伝統芸能、工芸の新しい活動を積極的に繰り広げておられる若い方々を新しい理事にご登用。継続万歳です。会報も続けてゆくことになりました。

皆様のご指導のもと何とか勤めさせていただきます。会員の皆様はじめ日頃お支えいたぐく皆様のご教導を賜りますようお願い申し上げます。(田中)

◆ 当会も発足十年を過ぎ、一区切りを迎えたがらも、会員各位の熱意によつて事業の継続を決定しました。会報もよろしくお付き合い下さい。

最近何やらかな臭い楚音が近づいて来るような気がしてます。勇ましいだけでは建設的な解決は望めません。もとより伝統芸能や貴重な民族文化は社会が平和であつてこそゆがみなく継承され、また自由に発展させることが出来るのです。それだけに、私ども伝統文化を大切に思う者たちとしては、何としても武力による争いを避ける責務があります。(中田)

## 「檜の会」会報原稿募集

会員の皆様からのお知らせなどを積極的に掲載いたします。催事の予定や参加行事。消息・ご意見など掲載したい記事を編集部までお寄せ下さい。

(編集部)

## —NPO法人「檜の会」入会のご案内—

「檜の会」は日本の伝統芸能を守り楽しむ会として発足、日本の伝統芸能文化(古典芸能・民族音楽・美術工芸・文学など)を各分野の専門家から学び、新しい文化や芸能の息吹を京都から世界に発信できれば素晴らしいことだと思って活動を続けています。

## 【入会金及び会費】

正会員 (入会金) (個人)	(年会費) 2,000円	賛助会員 (入会金) (団体)	(年会費) 10,000円	学生会員 (入会金) (団体)	(年会費) 免除
				5,000円(1口)	2,000円

## 【会員の特典】

伝統文化芸術・芸能の研修会や、ホールや劇場での鑑賞会にご招待またはご優待。  
「檜の会」会報誌の無料送付。

企画・編集・檜の会会報編集部  
田中重太郎・中田節・奥村澄子・木下隆  
会報はホームページでもお読み頂けます。

編集部FAX:〇七五七一四七七四

メール:alphankt@gmail.com